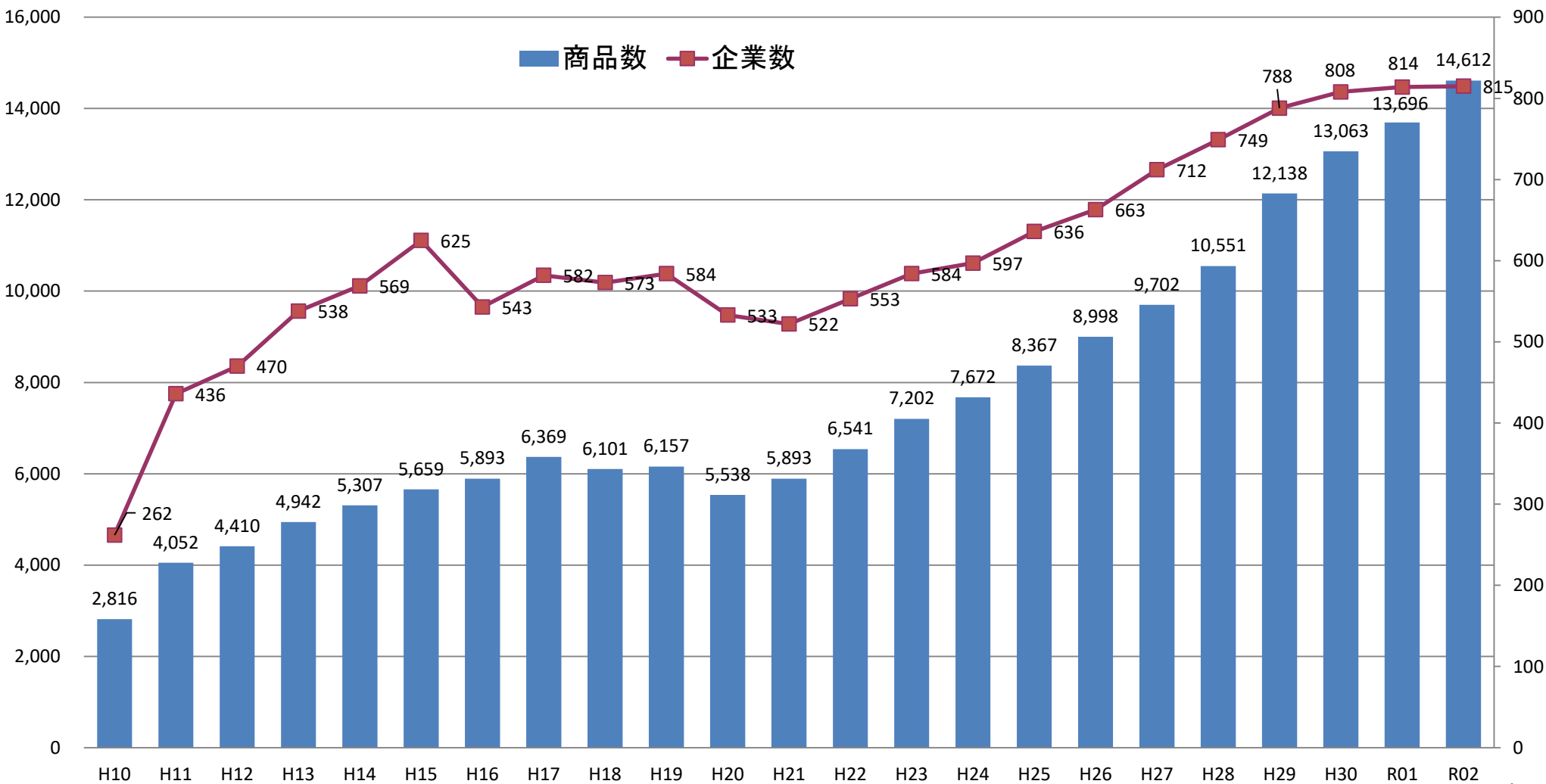


各種調査研究事業等による数値

福祉用具情報システム（TAIS）に登録されている福祉用具について

○ 公益財団法人テクノエイド協会が運営している「福祉用具情報システム（TAIS）」に登録されている福祉用具について、年度末の登録状況を比較。

（※）治療訓練用具、義肢・装具等、介護保険制度の対象種目以外の福祉用具も含む。



福祉用具の市場規模

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会 福祉用具産業市場動向調査（2019年度版）を基に作成

(単位) 億円

分類	2000年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	19/18年	19/09年
福祉用具(狭義)	11,603	11,069	11,652	11,738	12,344	13,483	13,997	14,504	14,552	15,106	14,990	15,033	100.3	135.8
領域 A	11,234	10,653	11,239	11,323	11,917	12,968	13,484	13,977	14,022	14,576	14,471	14,548	100.5	136.6
家庭用治療器	1,071	1,012	739	708	675	708	703	820	766	927	544	544	100.0	53.8
義肢・装具(広義)	2,272	1,790	1,713	1,707	1,918	2,106	2,226	2,293	2,262	2,232	2,225	2,160	97.1	120.7
パーソナルケア関連	2,539	3,210	3,346	3,475	3,680	4,003	4,275	4,382	4,491	4,626	4,711	4,886	103.7	152.2
おむつ	860	1,384	1,405	1,437	1,555	1,580	1,605	1,700	1,741	1,812	1,926	2,026	105.2	146.4
入浴関連	231	210	222	230	232	238	231	230	228	232	230	230	100.0	109.5
排泄関連	1,285	1,441	1,519	1,600	1,682	1,970	2,205	2,193	2,268	2,317	2,295	2,376	103.5	164.9
ポータブルトイレ	25	51	52	54	57	58	55	52	50	50	48	47	97.9	92.2
温水洗浄便座	1,137	1,357	1,438	1,517	1,591	1,882	2,112	2,113	2,195	2,243	2,223	2,305	103.7	169.9
ストーマ用品	89	19	11	10	15	7	14	9	4	6	7	7	100.0	36.8
その他排泄関連	34	14	18	19	19	23	24	19	19	18	17	17	100.0	121.4
衣類・靴類	-	142	167	175	176	181	200	225	221	232	228	222	97.4	156.3
その他	163	33	33	33	35	34	34	34	33	33	32	32	100.0	97.0
移動機器等	1,000	954	975	1,026	1,183	1,202	1,288	1,212	1,197	1,196	1,229	1,192	97.0	124.9
杖・歩行器	58	104	114	120	138	147	151	150	148	158	170	175	102.9	168.3
杖	15	37	39	40	41	45	47	48	50	51	56	54	96.4	145.9
歩行器・歩行車	12	24	34	40	51	55	60	60	58	65	73	73	100.0	304.2
歩行器	-	6	7	8	7	7	7	6	6	6	6	7	116.7	116.7
歩行車	-	18	27	32	44	48	53	54	52	59	67	66	98.5	366.7
シルバーカー	31	43	41	40	46	47	44	42	40	42	41	48	117.1	111.6
車いす	331	271	271	276	292	287	298	302	308	311	310	302	97.4	111.4
手動車いす	214	188	193	203	217	215	224	229	231	230	228	220	96.5	117.0
(介助式)車いす	-	62	60	66	70	69	70	69	69	74	72	74	102.8	119.4
(自走式)車いす	-	126	133	137	147	146	154	160	162	156	156	146	93.6	115.9
電動車いす(ジョイスティック形)	21	18	19	18	18	18	17	17	19	19	18	16	88.9	88.9
電動三(四)輪車(ハンドル形)	72	39	35	31	30	27	26	24	26	30	32	34	106.3	87.2
車いす用品	24	26	24	24	27	27	31	32	32	32	32	32	100.0	123.1
福祉車両等	582	559	568	605	727	740	809	729	709	696	718	683	95.1	122.2
リフト等	26	17	19	22	23	25	27	28	29	28	28	29	103.6	170.6
その他	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	100.0	100.0

福祉用具の市場規模

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会 福祉用具産業市場動向調査（2019年度版）を基に作成

(単位) 億円

分類	2000年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	19/18年	19/09年
福祉用具(狭義)	11,603	11,069	11,652	11,738	12,344	13,483	13,997	14,504	14,552	15,106	14,990	15,033	100.3	135.8
領域A	11,234	10,653	11,239	11,323	11,917	12,968	13,484	13,977	14,022	14,576	14,471	14,548	100.5	136.6
家具・建物等	906	736	788	847	949	1,023	1,103	1,085	1,111	1,102	1,104	1,074	97.3	145.9
ベッド	533	386	428	470	526	550	606	586	617	598	599	553	92.3	143.3
在宅(介護)向けベッド	-	203	207	211	224	228	256	255	269	252	255	221	86.7	108.9
医療向けベッド	-	153	186	223	264	286	312	296	311	310	309	299	96.8	195.4
その他ベッド(分類不可含)	-	30	35	36	38	36	38	35	37	36	35	33	94.3	110.0
段差解消機	64	43	45	45	52	55	52	52	53	54	53	52	98.1	120.9
スロープ	-	13	12	13	14	14	15	15	14	14	15	17	113.3	130.8
ホームエレベータ	131	52	49	46	46	53	53	53	47	47	44	43	97.7	82.7
椅子、座位保持装置	29	44	47	44	44	45	46	45	50	51	53	55	103.8	125.0
手すり・握りバー	77	161	171	195	228	266	286	288	285	290	291	300	103.1	186.3
据置型手すり	-	32	38	57	75	90	110	123	121	127	133	140	105.3	437.5
設置型手すり	-	129	133	138	153	176	176	165	164	163	158	160	101.3	124.0
その他	72	37	36	34	39	40	45	46	45	48	49	54	110.2	145.9
コミュニケーション機器	2,921	2,536	3,255	3,123	3,102	3,521	3,460	3,755	3,764	4,061	4,214	4,248	100.8	167.5
(旧)その他	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在宅等介護関連分野・その他	491	395	403	417	390	385	409	410	411	412	424	424	100.0	107.3
床ずれ防止用具等	72	72	79	77	80	80	94	85	86	85	94	95	101.1	131.9
動的床ずれ防止用具類	-	30	32	30	29	28	40	35	38	35	43	42	97.7	140.0
静的床ずれ防止用具類	-	42	47	47	51	52	54	50	48	50	51	53	103.9	126.2
操作・訓練・食事用具類	-	59	60	60	58	56	59	63	64	65	66	65	98.5	110.2
レクリエーション用具	-	22	22	39	35	27	36	40	41	41	41	41	100.0	186.4
環境改善機器	-	13	13	11	11	16	14	16	14	15	17	17	100.0	130.8
その他	419	229	229	230	206	206	206	206	206	206	206	206	100.0	90.0
その他	34	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	100.0	100.0
領域B(福祉施設用機器システム)	77	40	40	55	67	67	67	67	67	67	67	67	100.0	167.5
領域C(社会参加支援機器等)	292	376	373	360	360	448	446	460	463	463	452	418	92.5	111.2

介護保険における福祉用具・住宅改修の主な給付対象の追加・拡充について

給付対象の追加・拡充（通知内の該当部分のみ抜粋）			適用年度
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊寝台付属品 ・歩行器 ・移動用リフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライディングボード及びスライディングマットの明確化 ・車輪の数による制限を撤廃 ・「地面において」「台座を使用して人を持ち上げるもの」を追加 ※段差解消機や起立補助機能付きの椅子など上下方向にのみ移動させることができるもの 	平成15年度
・「介護保険における福祉用具の選定の判断基準」を策定。			平成16年度
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行補助つえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブラットホームクラッチ」を追加 	平成18年度
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換器 ・認知症老人徘徊感知機器 ・移動用リフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仰臥位から座位への体位の変換を行えるもの」を追加（※起き上がり補助装置） ・「ベッドや布団等を離れた時に通報するもの」を追加（※離床センサー） ・「階段等の斜め方向に移動できるもの」を追加（※階段移動用リフト） 	平成21年度
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・自動排泄処理装置 ・入浴補助用具 	<ul style="list-style-type: none"> ・（種目追加） ・「身体に直接巻き付けて使用し、浴槽への出入り等を介助できるもの」を追加（※入浴介助用ベルト） 	平成24年度
改修	<ul style="list-style-type: none"> ・引き戸等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「引き戸等への扉の取替え」に含むとして、「引き戸等の新設」を給付対象として追加 	
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊寝台付属品 ・自動排泄処理装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体に巻き付けて使用し、起き上がりや移乗等の介助ができるもの」を追加（※介助用ベルト） ・特定福祉用具販売（平成21年改正）から福祉用具貸与に変更。 「交換可能部品（レシーバー、チューブ、タンク等）のうち尿や便の経路となるものであって、居宅要介護者等又はその介護を行う者が安易に交換できるもの」については、引き続き特定福祉用具として販売。 	平成24年度
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・腰掛便座便器 	<ul style="list-style-type: none"> ・和式便器の上に置いて「腰掛式に変換する場合に、高さを補うもの」を追加（※底上げ部材） 	平成24年度
改修	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消 ・扉の取り替え扉の撤去 ・段差の解消に付帯工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・「玄関から道路までの通路等の傾斜の解消」を追加 ・住宅改修告示に掲げる「引き戸等への扉の取替え」の範囲に、「扉の撤去」を追加 ・「スロープの設置に伴う転落や脱輪防止を目的とする柵」等の設置を給付対象とした。 	平成24年度
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子 	<ul style="list-style-type: none"> ・「介助用パワーアシスト形に該当するもの」を追加（※介助用電動車椅子） 	平成27年度
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・腰掛便座 	<ul style="list-style-type: none"> ・「便座、バケツ等からなり、移動可能である便器のうち、水洗機能を有する便器」を追加 	平成27年度
改修	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式便器等への便器の取り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・「様式便器等への便器の取替え」のうち一般的に想定されるものとして「便座の位置・向きの変更」を追加 	平成27年度
貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行器 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自動制御等により利用者の移動を補助する機能が付加されたもの」を追加 	平成28年度
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄予測支援機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・（種目追加） 	令和4年度

福祉用具の希望小売価格の平均値との比較について

- 公益財団法人テクノエイド協会が運営している「福祉用具情報システム（TAIS）」に登録されている福祉用具（R04.01.06時点登録データ）について、告示の種目単位と、公益財団法人テクノエイド協会「CCTA95(福祉用具の分類コード)」単位で抽出。

（※）CCTA単位は主なものとしているため、合計の値を足しても告示の種目単位とはならない場合がある。

	個々の価格と平均価格との比較（個）										希望小売価格（円）	
	合計	～ 25.0%	25.1% ～ 50.0%	50.1% ～ 75.0%	75.1% ～ 100.0%	100.1% ～ 125.0%	125.1% ～ 150.0%	150.1% ～ 175.0%	175.1% ～ 200.0%	200.1% ～	平均値	中央値
歩行器	744 100.0%	4 0.5%	166 22.3%	182 24.5%	95 12.8%	103 13.8%	95 12.8%	50 6.7%	17 2.3%	32 4.3%	52,982	42,000
分類：歩行器	126 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	28 22.2%	59 46.8%	11 8.7%	7 5.6%	17 13.5%	1 0.8%	1 0.8%	22,334	18,500
分類：歩行車	608 100.0%	1 0.2%	107 17.6%	145 23.8%	100 16.4%	111 18.3%	83 13.7%	34 5.6%	6 1.0%	21 3.5%	57,040	49,800
手すり	1,630 100.0%	36 2.2%	129 7.9%	598 36.7%	359 22.0%	184 11.3%	127 7.8%	63 3.9%	34 2.1%	100 6.1%	107,203	83,740
分類：手すり、支持用手すり	346 100.0%	7 2.0%	85 24.6%	87 25.1%	67 19.4%	21 6.1%	14 4.0%	1 0.3%	18 5.2%	46 13.3%	177,346	125,900
分類：床置き式起き上がり用手すり	699 100.0%	20 2.9%	14 2.0%	190 27.2%	216 30.9%	109 15.6%	50 7.2%	50 7.2%	25 3.6%	25 3.6%	95,643	85,800
分類：握りバー、握り	479 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	141 29.4%	166 34.7%	59 12.3%	64 13.4%	20 4.2%	15 3.1%	13 2.7%	84,246	70,000
分類：トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む）	84 100.0%	0 0.0%	13 15.5%	15 17.9%	13 15.5%	22 26.2%	14 16.7%	1 1.2%	3 3.6%	3 3.6%	54,331	55,000

福祉用具の希望小売価格の平均値との比較について

- 公益財団法人テクノエイド協会が運営している「福祉用具情報システム（TAIS）」に登録されている福祉用具（R04.01.06時点登録データ）について、告示の種目単位と、公益財団法人テクノエイド協会「CCTA95(福祉用具の分類コード)」単位で抽出。

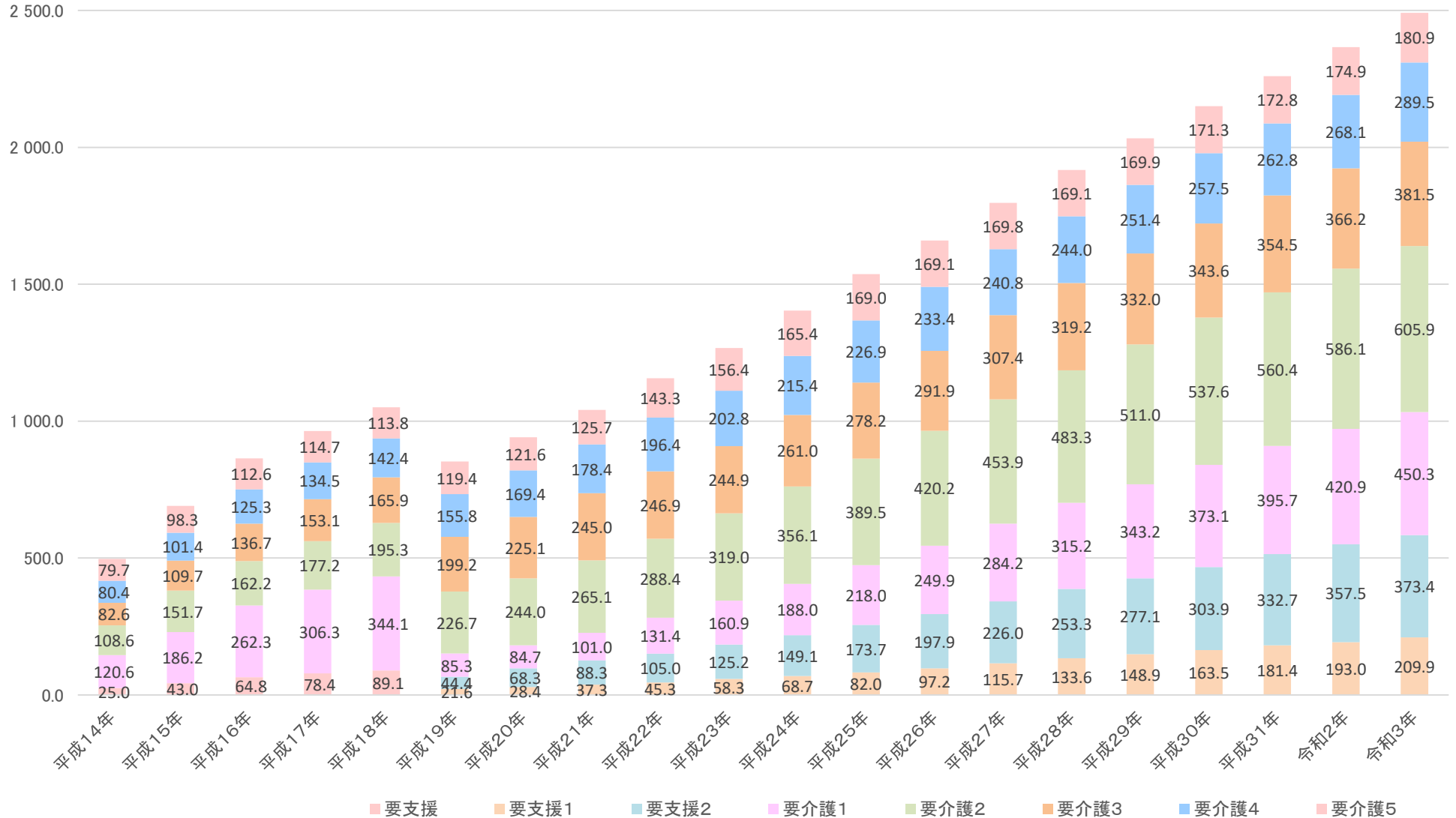
（※）CCTA単位は主なものとしているため、合計の値を足しても告示の種目単位とはならない場合がある。

	個々の価格と平均価格との比較（個）										希望小売価格（円）	
	合計	～ 25.0%	25.1% ～ 50.0%	50.1% ～ 75.0%	75.1% ～ 100.0%	100.1% ～ 125.0%	125.1% ～ 150.0%	150.1% ～ 175.0%	175.1% ～ 200.0%	200.1% ～	平均値	中央値
歩行補助つえ	366 100.0%	0 0.0%	20 5.5%	102 27.9%	111 30.3%	30 8.2%	55 15.0%	23 6.3%	8 2.2%	17 4.6%	11,630	9,450
分類：多点杖	186 100.0%	0 0.0%	8 4.3%	68 36.6%	40 21.5%	12 6.5%	33 17.7%	15 8.1%	1 0.5%	9 4.8%	11,901	9,500
分類：エルボークラッチ	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20,617	20,850
分類：ロフトランドクラッチ、カナディアンクラッチ	69 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	16 23.2%	37 53.6%	2 2.9%	6 8.7%	4 5.8%	1 1.4%	2 2.9%	9,709	8,800
分類：腋窩支持クラッチ（松葉杖）	62 100.0%	0 0.0%	6 9.7%	11 17.7%	25 40.3%	10 16.1%	3 4.8%	4 6.5%	1 1.6%	2 3.2%	10,165	9,210
スロープ	510 100.0%	214 42.0%	38 7.5%	30 5.9%	37 7.3%	27 5.3%	34 6.7%	26 5.1%	15 2.9%	89 17.5%	88,973	46,550
分類：携帯用スロープ	280 100.0%	23 8.2%	48 17.1%	45 16.1%	60 21.4%	23 8.2%	18 6.4%	24 8.6%	15 5.4%	24 8.6%	152,672	125,000
分類：固定用スロープ	230 100.0%	17 7.4%	81 35.2%	51 22.2%	22 9.6%	13 5.7%	8 3.5%	5 2.2%	6 2.6%	27 11.7%	11,425	6,600

福祉用具貸与の受給者数

○ 20年間で5倍に増加しており、要介護1と要支援者は、7倍と増加している。令和3年度では、全体の41%を占める。出典：厚生労働省「介護給付費実態調査」（各年4月審査分）

(単位:千人)



福祉用具購入・貸与調査等の実施状況（令和元年度実績）

出典：厚生労働省老健局介護保険計画課調べ

点検を実施できなかった（しなかった）理由（主な理由を3つ選択）

	対象数	平常業務多忙	担当職員不足	専門的な知識が有る職員がいない	適正化事業の中で優先順位が低い	適正化事業の優先順位が低い	予算要求困難	必要性が分からない	その他
住宅改修	508	399	376	314	41	18	15	2	66
	100.0	78.5%	74.0%	61.8%	8.1%	3.5%	3.0%	0.4%	13.0%
福祉用具販売	763	594	570	455	160	52	16	9	53
	100.0	77.9%	74.7%	59.6%	21.0%	6.8%	2.1%	1.2%	6.9%
福祉用具貸与	1,126	920	889	635	238	65	35	3	60
	100.0	81.7%	79.0%	56.4%	21.1%	5.8%	3.1%	0.3%	5.3%

各点検の実施状況

項目	購入		貸与	
	合計件数	(全・実施) 1保険者あたり	合計件数	(全・実施) 1保険者あたり
福祉用具購入（貸与）件数	486,876	309.9	27,766,747	17,674.6
福祉用具購入（貸与）調査実施件数	82,379	102.7	190,219	436.3
事業者に対する問い合わせ	11,044	13.8	3,496	8.0
利用者宅の訪問等による実態調査	3,475	4.3	8,610	19.7
介護支援専門員への確認件数	23,595	29.4	52,683	120.8
その他の調査	46,968	58.6	128,791	295.4

※ 1保険者あたりの購入（貸与）件数は全保険者（1,571保険者）の平均、購入（貸与）調査実施件数の件数は実施保険者の平均。

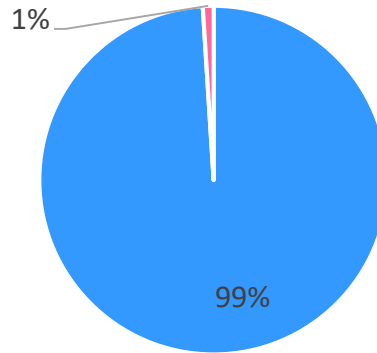
福祉用具購入・貸与調査等の実施状況（令和元年度実績）

出典：厚生労働省老健局介護保険計画課調べ

福祉用具貸与調査の調査結果

	合計件数	実施保険者 当たり
問題なし	188,617	432.6
改善指示（指導）	1,602	3.7
改善指示（指導）により改善が図られた件数	1,550	3.6

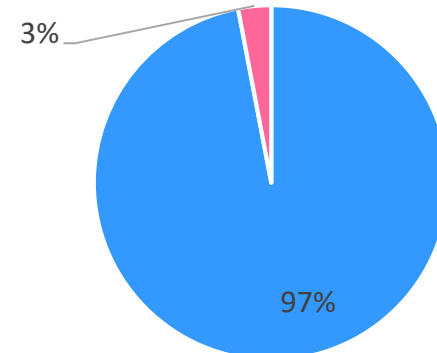
（調査結果）



- 問題なし
- 改善指示（指導）

※ 福祉用具貸与調査の調査結果（190,219件）の内訳

（改善率）



- 改善指示（指導）により改善が図られた件数
- その他

※ 改善指示（指導）を行った1,602件のうち、改善が図られた割合

福祉用具購入・貸与調査の実施による過誤申立の状況

	保険者数	割合
過誤申立あり	41	4%
過誤申立なし	876	96%
合計	917	-

※ 福祉用具の購入調査と貸与調査のいずれか、もしくは両方を実施している917保険者の内訳
 ※ 41保険者の過誤申立件数の合計は、591件

過誤申立金額	保険者数	割合
～10,000円	9	22%
10,001～100,000円	24	59%
100,001～1,000,000円	7	17%
1,000,000円超	1	2%
合計	41	-

※ 41保険者の過誤申立金額の合計は、4,059,714円

ケアプラン点検の実施状況（令和元年度実績）

出典：厚生労働省老健局介護保険計画課調べ

点検を実施できなかった（しなかった）理由（主な理由を3つ選択）

	対象数	担当職員不足	平常業務多忙	専門的な知識 が有る職員が いない	適正化事業の 優先順位が低い	適正化事業の 中で優先順位 が低い	予算要求困難	必要性が分か らない	その他
ケアプラン点検	241	213	212	172	15	13	11	1	9
	100%	88.4%	88.0%	71.4%	6.2%	5.4%	4.6%	0.4%	3.7%

点検実施方法

項目	保険者数	
事前にケアプランの提出を求め、役所で書面のみで実施	310	23.3%
事前にケアプランの提出を求め、後日、役所で面談	466	35.0%
事前にケアプランの提出を求め、後日、保険者が事業所を訪問	253	19.0%
保険者が事業所を訪問し、当日、ケアプランの提出を求め、実施	101	7.6%
その他	200	15.0%
合計	1,330	100%

事業所から提出を求めている資料

項目	保険者数	
ケアプランのみ	180	13.5%
ケアプラン点検に加え、アセスメント及びモニタリングに関するシート	855	64.3%
ケアプランに加え、保険者が独自に作成したチェックシート	94	7.1%
その他	201	15.1%
合計	1,330	100%

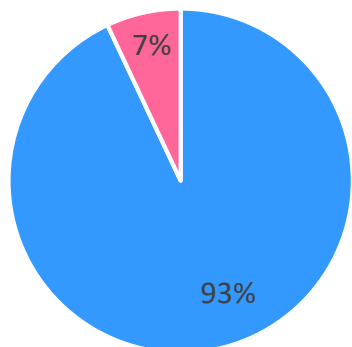
ケアプラン点検の実施状況（令和元年度実績）

出典：厚生労働省老健局介護保険計画課調べ

ケアプラン点検の調査結果

	合計件数	実施保険者 当たり
問題なし又は軽微な指摘や助言	289,512	217.7
改善指示（指導）	20,339	15.3
改善指示（指導）により改善が図られた件数	16,372	12.3

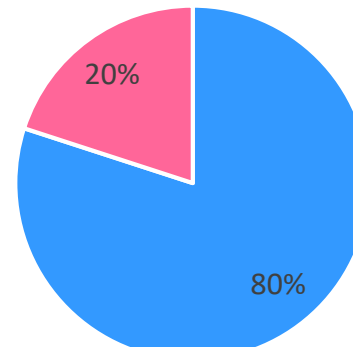
（調査結果）



- 問題なし又は軽微な指摘や助言
- 改善指示（指導）

※ ケアプラン点検の点検結果を把握している309,851件の点検結果

（改善率）



- 改善指示（指導）により改善が図られた件数
- その他

※ 改善指示（指導）を行った20,339件のうち、改善が図られた件数

ケアプラン点検の実施による過誤申立の状況

	保険者数	割合
過誤申立あり	106	8%
過誤申立なし	1,224	92%
合計	1,330	-

- ※ ケアプラン点検を実施している1,330保険者の内訳
- ※ 106保険者の過誤申立件数の合計は、5,548件

過誤申立金額	保険者数	割合
～10,000円	12	11%
10,001～100,000円	42	40%
100,001～1,000,000円	28	23%
1,000,000円超	24	26%
合計	106	-

※ 106保険者の過誤申立金額の合計は、123,643,228円

住宅改修関係

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険の福祉用具における効果的なサービス提供に関する調査研究事業」（株式会社三菱総合研究所）より

利用者票

○ 福祉用具貸与のうち、同一製品を3年以上利用している者がこれまでに実施した住宅改修

件数	手すりの取り付け	段差の解消	床又は通路面の材料の変更	引き戸等への扉の取替え	洋式便器等への便器の取替え	実施していない・不明	無回答
1,051	316	103	27	39	31	640	62
	30.1%	9.8%	2.6%	3.7%	2.9%	60.9%	5.9%

○ 住宅改修ではなく福祉用具貸与として「手すり」を長期利用している理由 ※3年以上手すりの貸与がある利用者のみ

件数	賃貸住宅のため	同居家族の都合	住宅改修では対応できない場所・用途	手続きが煩雑なため	その他	無回答
403	52	45	246	1	28	31
	12.9%	11.2%	61.0%	0.2%	6.9%	7.7%

介護支援専門員票

○ 手すりの設置を検討する際、福祉用具貸与または住宅改修を利用者へ提案する際の判断基準（3つ選択）

件数	利用者宅の状況（持ち家か、賃貸か）を踏まえて判断	利用者・家族の希望を聞き取った上で判断	利用者が負担する費用を踏まえて判断	使用目的によって判断	使用場所によって判断	利用開始時期までの長短を見て判断	福祉用具専門相談員等からの提案の有無によって判断	市町村または市町村と連携した理学療法士・作業療法士との相談を踏まえて判断	サービス担当者会議等の場で検討した上で判断	地域包括支援センターとの連絡・相談をもとに判断	継続的な利用が見込まれるか福祉用具貸与で確認した上で、住宅改修も提案	福祉用具貸与サービスを提案する方針	その他	無回答
168	65	103	28	66	65	8	21	16	33	1	73	1	4	2
	38.7%	61.3%	16.7%	39.3%	38.7%	4.8%	12.5%	9.5%	19.6%	0.6%	43.5%	0.6%	2.4%	1.2%

同一種目の支給個数状況 ①

(車いす)

	利用者数 (人)	貸与件数 (件)	利用者1人あたり 平均貸与額 (円)	1件あたり 平均貸与額 (円)
全利用者	599,624	638,203	7,165	6,727
2件以上貸与を受けた利用者	38,574	77,513	14,585	7,258

1個貸与 (人)	2個貸与 (人)	3個以上貸与 (人)
560,690 (93.6%)	38,220 (6.4%)	354 (0.1%)

(歩行器)

	利用者数 (人)	貸与件数 (件)	利用者1人あたり 平均貸与額 (円)	1件あたり 平均貸与額 (円)
全利用者	723,118	784,075	3,248	2,996
2件以上貸与を受けた利用者	60,389	121,346	5,894	2,933

1個貸与 (人)	2個貸与 (人)	3個以上貸与 (人)
662,729 (91.6%)	59,837 (8.3%)	552 (0.1%)

(歩行補助つえ)

	利用者数 (人)	貸与件数 (件)	利用者1人あたり 平均貸与額 (円)	1件あたり 平均貸与額 (円)
全利用者	199,307	217,422	1,178	1,080
2件以上貸与を受けた利用者	17,320	35,435	2,189	1,070

1個貸与 (人)	2個貸与 (人)	3個以上貸与 (人)
181,987 (91.3%)	16,752 (8.4%)	571 (0.3%)

出典：介護保険総合データベース（任意集計 対象データ：2021年4月貸与分）（30日間利用した者に限る）

同一種目の支給個数状況 ②

(手すり)

	利用者数 (人)	貸与件数 (件)	利用者1人あたり 平均貸与額 (円)	1件あたり 平均貸与額 (円)
全利用者	1,115,975	2,243,819	6,180	3,074
6件以上貸与を受けた利用者	47,691	382,445	20,583	2,567

1個貸与 (人)	2個貸与 (人)	3個貸与 (人)	4個貸与 (人)	5個貸与 (人)	6個貸与 (人)
599,256 (53.7%)	263,889 (23.6%)	116,597 (10.4%)	58,161 (5.2%)	30,381 (2.7%)	17,618 (1.6%)
7個貸与 (人)	8個貸与 (人)	9個貸与 (人)	10個貸与 (人)	11個以上貸与 (人)	
10,521 (0.9%)	6,448 (0.6%)	4,098 (0.4%)	2,741 (0.2%)	7,402 (0.6%)	

(スロープ)

	利用者数 (人)	貸与件数 (件)	利用者1人あたり 平均貸与額 (円)	1件あたり 平均貸与額 (円)
全利用者	195,684	373,039	4,788	2,511
5件以上貸与を受けた利用者	12,578	77,321	4,879	794

1個貸与 (人)	2個貸与 (人)	3個貸与 (人)	4個貸与 (人)	5個貸与 (人)	6個貸与 (人)
111,107 (56.8%)	42,284 (21.6%)	18,817 (9.6%)	10,898 (5.5%)	5,580 (2.9%)	3,417 (1.7%)
7個貸与 (人)	8個貸与 (人)	9個貸与 (人)	10個貸与 (人)	11個以上貸与 (人)	
1,673 (0.9%)	945 (0.5%)	489 (0.2%)	239 (0.1%)	235 (0.1%)	

○留意点

- ・種目を間違えて請求を行ったケースが含まれている可能性がある。
- ・座席のある歩行器のシート部分等、いくつかの付属品が別々に請求されている可能性がある。

令和元年度住宅改修費の支給状況（過年度分を含む費用額別の給付人数）

出典：厚生労働省調べ

- 令和元年度に住宅改修費が給付された者について、過年度分（平成30年度以前）の費用額（給付額と自己負担の合計額）も含めた場合、どの要介護度であっても、60,000円以下が最も多い。

費用額	給付人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
～60,000円	60,842	11,543	11,846	14,006	11,099	6,626	4,424	1,298
	25.8%	24.3%	24.6%	26.7%	26.5%	27.4%	27.6%	24.4%
60,001円～ 100,000円	45,389	9,583	9,425	10,407	7,808	4,544	2,763	859
	19.3%	20.2%	19.6%	19.9%	18.6%	18.8%	17.3%	16.2%
100,001円～ 140,000円	35,069	7,355	7,417	7,880	6,276	3,299	2,126	716
	14.9%	15.5%	15.4%	15.0%	15.0%	13.6%	13.3%	13.5%
140,001円～ 180,000円	28,961	6,047	6,093	6,496	5,151	2,772	1,834	568
	12.3%	12.7%	12.7%	12.4%	12.3%	11.5%	11.5%	10.7%
180,000円～ 200,000円	37,457	7,820	7,822	7,857	6,690	3,823	2,546	899
	15.9%	16.5%	16.2%	15.0%	16.0%	15.8%	15.9%	16.9%
200,001円～	27,706	5,176	5,541	5,725	4,874	3,109	2,312	969
	11.8%	10.9%	11.5%	10.9%	11.6%	12.9%	14.4%	18.3%
合計	235,424	47,524	48,144	52,371	41,898	24,173	16,005	5,309

※ 費用額20万円以上の者が1人以上いる（把握している）と回答のあった保険者（1,019）を集計。

令和元年度住宅改修費の支給状況（住宅改修種目別）

出典：厚生労働省調べ

- 住宅改修の給付を種目別に分類した場合、7割以上の給付件数が手すりの取り付けである。

種目	件数 (種目別割合)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
手すりの取り付け	340,828	69,201	69,879	75,862	60,952	35,220	22,691	7,023
	72.8%	20.3%	20.5%	22.3%	17.9%	10.3%	6.7%	2.1%
段差の解消	63,481	12,344	12,243	12,974	10,938	7,183	5,584	2,215
	13.6%	19.4%	19.3%	20.4%	17.2%	11.3%	8.8%	3.5%
通路面の材料の変更	17,557	3,440	3,183	3,737	2,813	1,913	1,672	799
	3.8%	19.6%	18.1%	21.3%	16.0%	10.9%	9.5%	4.6%
戸の取替え	23,481	3,882	4,246	4,822	4,410	2,949	2,302	870
	5.0%	16.5%	18.1%	20.5%	18.8%	12.6%	9.8%	3.7%
便器の取替え	7,446	1,564	1,332	1,699	1,340	774	558	179
	1.6%	21.0%	17.9%	22.8%	18.0%	10.4%	7.5%	2.4%
その他	15,203	3,249	2,924	3,400	2,726	1,544	993	367
	100.0%	21.4%	19.2%	22.4%	17.9%	10.2%	6.5%	2.4%
合計	467,996	93,681	93,808	102,495	83,180	49,584	33,800	11,453

※ 種目別の件数について、回答のあった保険者（1,472）を集計。

※ 1回の給付で複数種目を同時に住宅改修がされる場合もあり、その際に費用額を種目毎に算出せず、合算としている事例も一定数あることから、種目別の費用額については調査していない。

介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業」（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

- 令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、「福祉用具の事故等に関して、再発防止の観点から、市町村等においてどのような内容の情報が収集されているのか実態把握を行うとともに、事故が起きる原因等の分析や情報提供の方法等について、介護保険施設におけるリスクマネジメントの強化の取組を踏まえながら、更なる効果的な取組を今後検討していくべき」と指摘されたところである。
- 本事業ではこれを踏まえて、福祉用具に関する事故やヒヤリ・ハットについて、①市町村や福祉用具貸与事業所、製造業者等において、把握している事故等の内容を収集し、事故等の内容の整理や原因分析を行うとともに、②福祉用具専門相談員や介護支援専門員、製造業者等へのヒアリングを通じて事故防止に資すると考えられる情報を整理し、③在宅における福祉用具利用のリスクや課題を考察することを目的とした。

事故やヒヤリ・ハットに関する情報の収集・報告状況や当該情報の活用状況等についてアンケート調査

- 【調査対象】①都道府県票：全国の都道府県 47件（悉皆）
②市区町村票：全国の市区町村 1,741（悉皆）
③福祉用具貸与事業所票：全国の福祉用具貸与事業所 1,000件
④福祉用具製造業者票：全国の福祉用具製造業者 100件
公益財団法人テクノエイド協会が運営する「福祉用具情報システム(TAIS)」に登録されている福祉用具製造業者の中から無作為抽出

【目的】①都道府県、②市区町村、③福祉用具貸与事業所、④製造業者等を対象に、福祉用具に関する事故報告の実施フローや内容、ヒヤリ・ハット情報等の把握の実態及び事故防止に資する取組の実施状況を把握し、在宅における福祉用具利用のリスクや課題を整理することを目的として実施。

【調査時期】 令和3年10月13日（水）～令和3年11月12日（金）

- 【調査方法】①都道府県票：郵送配布・郵送回収 ②市区町村票：メール送付・WEB回収
③福祉用具貸与事業所票：郵送配布・郵送回収又はWEB回収
④福祉用具製造業者票：郵送配布・郵送回収

【回収状況】○回収率：①都道府県 85.1% ②市区町村 62.0%（69.2%※広域連合）
③福祉用具貸与事業所 37.9% ④製造業者等 38.0%

調査票	主な調査項目
①都道府県票	<ul style="list-style-type: none">基本情報都道府県内で発生した福祉用具貸与に関する事故情報の収集について市区町村から受けた事故報告の件数について報告を受けた事故情報の活用状況について都道府県が実施する研修等について 他
②市区町村票	<ul style="list-style-type: none">基本情報福祉用具に関する事故情報の収集について事故情報の件数について市区町村から都道府県及び他市区町村への報告の有無について報告を受けた事故情報の活用状況について事故報告（福祉用具貸与に限る）を行った福祉用具貸与事業所への対応について市区町村が実施する研修等について 他
③福祉用具貸与事業所票	<ul style="list-style-type: none">基本情報事故防止のための取組事故情報の把握状況について事業所における事故情報の取り扱いについて事業所における市町村等に対する事故報告の実施状況について事業所におけるヒヤリ・ハットの取り扱いについて他事業者（他社）における事故情報やヒヤリ・ハット情報の収集について特定福祉用具販売に関する事故やヒヤリ・ハットについて住宅改修に関する事故やヒヤリ・ハットについて事故情報の情報発信について
④福祉用具製造業者票	<ul style="list-style-type: none">基本情報自社製品における事故情報やヒヤリ・ハット情報の収集について輸入製品・OEM製品に関する事故情報やヒヤリ・ハット情報の収集について他社製品における事故情報やヒヤリ・ハット情報の収集について事故防止に向けた取組について

事故の要因分析を実施するにあたっては、必要とする情報を正確に収集することが求められるため、報告様式も重要であることから、本調査を通じ、令和3年3月19日付で厚生労働省から公表された「介護保険施設等における事故報告の様式」を基に、福祉用具貸与事業所向けの事故報告書（案）を作成した。

福祉用具の事故の報告件数について

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

福祉用具貸与

		調査数	0件	1件	2件	3件	4件	5件以上	無回答
都道府県	令和元年度	29 100.0%	22 75.9%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	1 3.4%	3 10.3%
	令和2年度	29 100.0%	22 75.9%	2 6.9%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	3 10.3%
市町村	令和元年度	1079 100.0%	997 92.4%	22 2.0%	6 0.6%	3 0.3%	2 0.2%	7 0.6%	43 4.0%
	令和2年度	1079 100.0%	976 90.5%	39 3.6%	9 0.8%	4 0.4%	3 0.3%	4 0.4%	44 100.0%

特定福祉用具販売

		調査数	把握している	把握していない	無回答
都道府県	令和元年度	29 100.0%	12 41.4%	14 48.3%	3 10.3%
	令和2年度	29 100.0%	12 41.4%	14 48.3%	3 10.3%
市町村	令和元年度	1079 100.0%	323 29.9%	734 68.0%	22 2.0%
	令和2年度	1079 100.0%	323 29.9%	731 67.7%	25 2.3%

		調査数	0件	1件	2件	3件	無回答
都道府県	令和元年度	12 100.0%	10 83.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
	令和2年度	12 100.0%	11 75.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%
市町村	令和元年度	323 100.0%	316 97.8%	2 0.6%	1 0.3%	1 0.3%	3 0.9%
	令和2年度	323 100.0%	311 96.3%	7 2.2%	1 0.3%	1 0.3%	3 0.9%

（※）都道府県は管内市町村からの報告件数、市町村は管内事業所からの報告件数。なお、都道府県n=29は福祉用具貸与に関する事故情報の収集を実施していると回答した件数。

自治体における事故情報の集計・分析について

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業」
 （一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

集計・分析の実施状況

	調査数	単純集計の他、要因や傾向を分析している	内容や件数を単純集計している	集計や分析は行っていない
都道府県	29 100.0%	5 17.2%	14 48.3%	10 34.5%
市町村	1079 100.0%	100 9.3%	360 33.4%	590 54.7%

集計・分析結果の活用（複数回答）

	調査数	都道府県のホームページで公開している	市区町村へフィードバックしている	介護サービス事業所へフィードバックしている	研修会等の資料に活用している	その他	無回答
都道府県	19 100.0%	3 15.8%	3 15.8%	4 21.1%	7 36.8%	7 36.8%	4 21.1%
市町村	460 100.0%	6 1.3%	22 4.8%	132 28.7%	140 30.4%	123 26.7%	119 25.9%

事故情報の活用状況（複数回答）

	調査数	事故報告を提出した当該事業所に対して指導や支援を行う	都道府県内の他の事業所の現地指導や助言のために活用する（事例紹介、注意喚起等）	定例で実施している都道府県内の介護サービス事業所向けの研修や都道府県内の介護サービス事業所との連絡会議等で活用する	庁内の関連部署（日常生活用具や補装具等）への情報共有に活用している	都道府県独自のマニュアル等に反映している	活用していない	その他
都道府県	29 100.0%	18 62.1%	15 51.7%	2 6.9%	1 3.4%	0 0.0%	3 10.3%	6 20.7%
市町村	1079 100.0%	383 35.5%	376 34.8%	201 18.6%	19 1.8%	74 6.9%	335 31.0%	66 6.1%

（※）都道府県n = 29は福祉用具貸与に関する事故情報の収集を実施していると回答した件数。

福祉用具事故の情報連携・分析

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

福祉用具貸与事業者の介護事故把握後の情報連携先（複数回答）

調査数	家族	介護支援専門員	他介護サービス事業所	福祉用具製造事業者	レンタル卸会社	その他	無回答
379	310	323	100	128	205	17	45
100.0%	81.8%	85.2%	26.4%	33.8%	54.1%	4.5%	11.9%

福祉用具製造事業者の事故情報の収集先（複数回答）

調査数	福祉用具貸与事業所	販売代理店	レンタル卸業者	利用者・家族	都道府県・市区町村	ホームページ・相談窓口	その他
32	27	19	25	16	5	12	4
100.0%	84.4%	59.4%	78.1%	50.0%	15.6%	37.5%	12.5%

福祉用具貸与事業者における事故情報分析

調査数	分析している	分析していない	無回答
379	235	113	31
100.0%	62.0%	29.8%	8.2%

事故報告にあたっての課題（複数回答）

調査数	介護事故として認識する範囲が福祉用具専門相談員ごとに異なる	介護事故を認識しても管理者等へ報告を躊躇する福祉用具専門相談員もいる	他介護サービス事業所等からの情報共有がなく事故情報が把握しにくい	都道府県・市区町村へ報告すべきか判断に迷うケースがある	その他	特になし	無回答
235	93	25	48	60	1	85	12
100.0%	39.6%	10.6%	20.4%	25.5%	0.4%	36.2%	5.1%

福祉用具貸与事業所におけるヒヤリ・ハットの取扱い

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

ヒヤリ・ハットの把握

調査数	事業所としてヒヤリ・ハット情報を把握している (福祉用具専門相談員に報告するよう指示している)	福祉用具専門相談員等から報告があれば把握している	事業所として特に対応していない	無回答
379	212	113	19	35
100.0%	55.9%	29.8%	5.0%	9.2%

	調査数	把握したヒヤリ・ハットがある	把握したヒヤリ・ハットはない	無回答
令和元年度	325	133	165	27
	100.0%	40.9%	50.8%	8.3%
令和2年度	325	140	161	24
	100.0%	43.1%	49.5%	7.4%

報告の被害状況の範囲（複数回答）

調査数	事故等は発生していないが、事故発生につながる可能性が高い状態・事例	事故等が発生したが、入所者への影響は認められなかった事例	事故等により利用者に変化が生じ、診察や検査が必要となったが、治療の必要がなかった事例	事故等の発生により利用者への影響が発生し、軽微な処置、治療を要した事例	事故等が発生したが、利用者への影響が不明・あいまいな場合	その他	無回答
325	280	130	134	126	103	10	13
100.0%	86.2%	40.0%	41.2%	38.8%	31.7%	3.1%	4.0%

ヒヤリ・ハット報告にあたっての課題（複数回答）

調査数	ヒヤリ・ハットとして認識する範囲が福祉用具専門相談員ごとに異なる	ヒヤリ・ハットを認識しても管理者等へ報告を躊躇する福祉用具専門相談員もいる	他介護サービス事業所等からの情報共有がなくヒヤリ・ハット情報が把握しにくい	報告されたヒヤリ・ハットをどのように集計・分析すべきかわからない	報告されたヒヤリ・ハットをどのように再発防止策の検討に活用すべきかわからない	その他	特になし	無回答
189	109	34	40	15	4	6	48	14
100.0%	57.7%	18.0%	21.2%	7.9%	2.1%	3.2%	25.4%	7.4%

サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会）より

- エビデンスに基づいた自立支援・重度化防止、介護負担の軽減等を推進することを目的とした科学的介護に係る検討が進められているところであり、福祉用具貸与サービスにおいても福祉用具貸与計画書及びモニタリング記録のPDCAサイクルを適正に機能させていく必要がある。
- 令和2年度に実施した調査研究事業において、福祉用具貸与計画書やモニタリング記録について、記録すべき項目は共通化しているものの、福祉用具専門相談員によって福祉用具のモニタリングにおける視点や評価が異なること等の課題が浮き彫りとなった。客観的な評価や進捗状況の把握が可能となるよう定量的な目標を設定することが重要であるが、どのような定量的な目標を設定することが適切かは引き続き検討が必要であった。
- 令和3年度は、介護支援専門員が必要としている情報について把握し、福祉用具貸与サービスの質の向上に向けた記録項目や記載内容の基準の可視化・標準化に資するふくせん福祉用具サービス計画書およびモニタリングシートの改編様式の作成を行うことを目的とした。

福祉用具貸与サービスの質の向上に向けた検討

【検討方法】 客観的な評価を行うためにどのような目標設定を行うべきか、また、どのような記録項目があれば目標の評価が可能かといった、福祉用具貸与サービスの質の評価や望ましい目標設定等について、作業部会及び検討委員会の場で議論した。

【目的】 改編様式作成に向けて、令和2年度調査において課題として挙げられていた、客観的な評価を行うためにどのような目標設定を行うべきか、また、どのような記録項目があれば目標の評価が可能かといった、福祉用具貸与サービスの質の評価や望ましい目標設定等について、作業部会及び検討委員会の場で議論し、チームケアの促進に寄与すると考えられる情報や取組を整理するために介護支援専門員を対象としたアンケート調査の実施及び、ふくせん様式の改編案の作成を行い、現場の福祉用具専門相談員を対象に試行運用を実施した。更にふくせん様式の改編案に対する改善点や実運用に向けた課題等を把握するため、介護支援専門員及び試行運用を実施した福祉用具専門相談員を対象にヒアリング調査を実施。

福祉用具貸与計画書における項目の標準化に向けた検討

【調査対象】 全国の居宅介護支援事業所（事業所内 1名）： 介護支援専門員 1,500名

【目的】 介護支援専門員を対象に「福祉用具サービス計画」や福祉用具専門相談員が実施するモニタリングの結果等の活用状況、福祉用具専門相談員から得られる介護支援専門員にとって有益な情報等について実態の把握を行った。

<調査項目>

- 居宅サービス計画書完成前の福祉用具専門相談員との連携について
- 福祉用具専門相談員が実施している福祉用具サービス計画の活用について
- 福祉用具専門相談員が実施しているモニタリング結果の活用について
- 福祉用具専門相談員を利用者に紹介する際に重視するポイントについて

【調査時期】 令和3年11月1日（月）～令和3年12月6日（月）

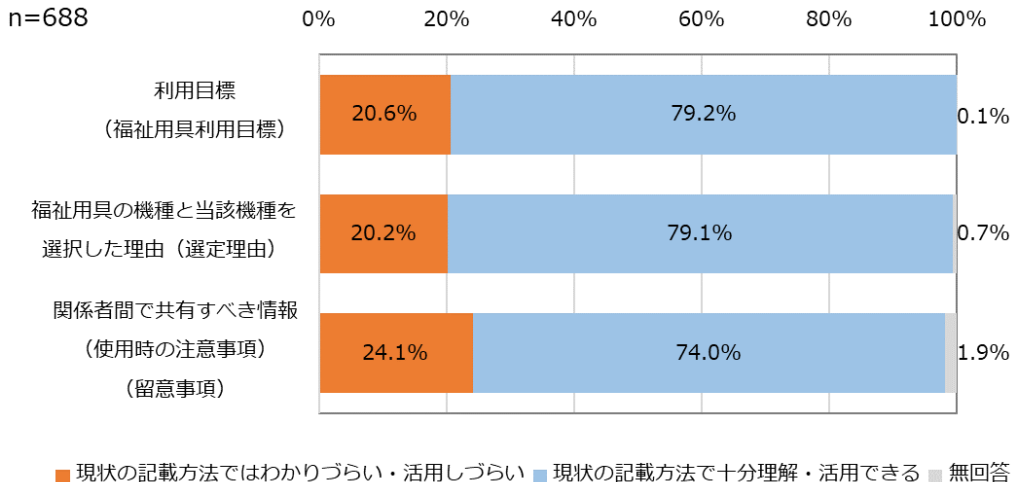
【調査方法】 郵送配布・郵送回収またはWEB回収

【回収状況】 ○回収数：691件（回収率：46.0%） ○有効回収数 688件（45.8%）

介護支援専門員による福祉用具サービス計画の活用

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会）より

「福祉用具サービス計画」の記載内容に対する評価



福祉用具サービス計画の活用場面 (複数回答)

調査数	介護支援専門員として実施するモニタリング評価時に活用している	居宅サービス計画書見直しの要否を判断する際に活用している	居宅介護支援経過記録に活用している	サービス担当者会議での検討事項に活用している	情報共有にも活用している	リハビリテーションの検討において、PT、OT、STと共有している	ケアプランに活用している	認知症やチームケアの利用者の情報共有に活用している	その他	活用していない	無回答
688	537	463	276	443	371	200	3	28	1		
100.0	78.1	67.3	40.1	64.4	53.9	29.1	0.4	4.1	0.1		

活用していない理由 (複数回答)

調査数	活用したい情報が共有されていない	活用する必要がある情報が記載されていない	活用する必要がある	その他	特になし
28	5	7	4	10	5
100.0	17.9	25.0	14.3	35.7	17.9

【その他：主な自由記述】

- ・ 簡単に作りすぎていて内容、中身がなく、活用しづらい
- ・ 必要な時手元にない。既に電話等で話している
- ・ ケアプランに基づいた計画書で後付計画書になっているため計画書から提案はないが、日常的な協議中でいろいろな提案をうけている
- ・ すでに担当者会議で内容は話しあっており計画内容は同じこと。モニタリングで直接やり取りしてコミュニケーション、情報共有できており必要性がない
- ・ ケアプランをそのまま写してあるため参考にならない

介護支援専門員による福祉用具サービス計画に対する意見

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会）より

わかりやすい・活用しやすい記載方法について

福祉用具の機種と当該機種を選択した理由

(複数回答)

調査数	機種別の特長や違いが簡易に把握できるとよい	選定理由を簡易に把握できるとよい(カテゴリを把握できるとよい)	利用する福祉用具と福祉用具利用の紐づけがわかりやすい	その他	無回答
139	98	82	62	8	1
100.0	70.5	59.0	44.6	5.8	0.7

関係者間で共有すべき情報

(複数回答)

調査数	利用者や家族に対する福祉用具利用上の留意事項	利用者の服薬や疾患、生活習慣など個別の状況に配慮した注意事項	誤操作や事故の危険性についての注意事項	福祉用具専門相談員によるモニタリング等の連絡事項	その他	無回答
166	89	69	102	95	4	3
100.0	53.6	41.6	61.4	57.2	2.4	1.8

【その他：主な自由記述】

- ・ より具体的で中身のある選定理由を記載してほしい
- ・ 計画の 前事 前カンファで協議している の で後が になる
- ・ 同等の新機種が出たら教えて欲しい
- ・ 話しあった内容を、記入しているだけ
- ・ 記入者の表現力の問題
- ・ 利用目的が曖昧な表現の専門員がいる
- ・ 個別性のある意見記載欄があればよい

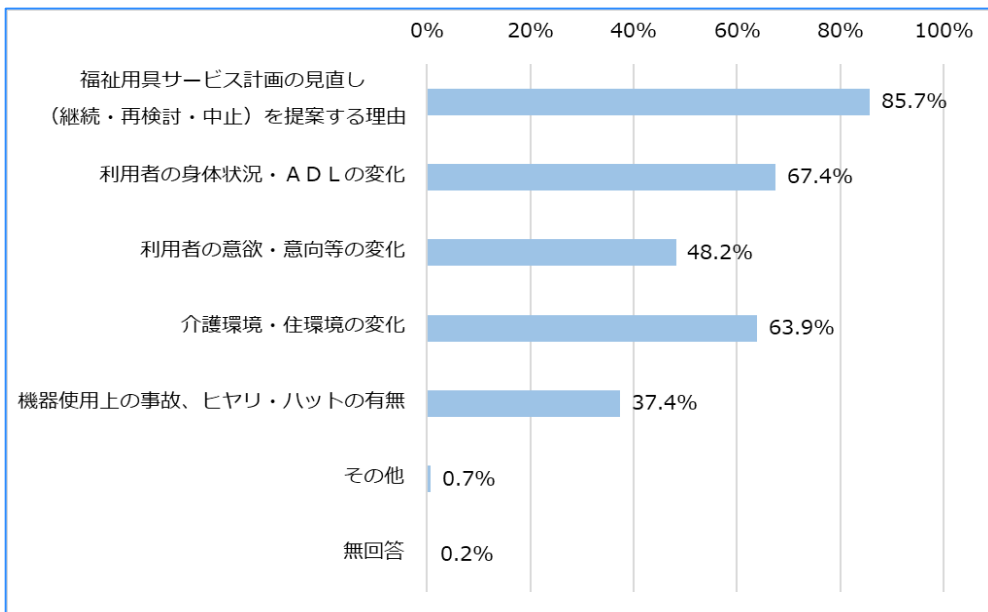
【その他：主な自由記述】

- ・ 目標に対する福祉用具のモニタリングの内容
- ・ 個人に対応した記載をして欲しい
- ・ 共通の書式があると忙しい中でも確認しやすいと思う
- ・ 内容がうすいが仕方ないと思う

「モニタリングシート」の項目と評価指標に対する評価

出典：令和3年度老人保健健康増進等事業「サービスの質の向上に向けた福祉用具貸与計画書における項目の標準化に関する調査研究事業」（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会）より

福祉用具専門相談員が実施したモニタリング結果において、参考としている情報



福祉用具専門相談員が実施したモニタリング結果を得ることによる効果

調査数	福祉用具の変更が可能な必要性等	住環境整備の必要性等に気づくことができる	利用安全（事故・ヒヤリ・ハット等）が担保できなくなる	利用者が得られる家族の変化等の情報	その他	特になし	無回答
610	539	445	334	348	8	13	5
100.0	88.4	73.0	54.8	57.0	1.3	2.1	0.8

「モニタリングシート」に加えると良い項目

調査数	メンテナンス内容、安全性に対する処置等	誤操作・誤使用の有無	誤操作・誤使用の内容やそれに対する再指導等の対応内容	ヒヤリ・ハットの有無	ヒヤリ・ハットの具体的な内容やそれに対する再指導等の対応内容	利用者・家族が使用中に困ったこと等の聞き取り内容	利用者・家族の福祉用具利用の満足度	福祉用具導入後の生活全般に関わる変化	身体状況・ADLの項目別の確認結果	介護支援専門員と福祉用具専門相談員、双方への連絡事項記入欄	その他	特になし	無回答
688	269	174	219	142	180	356	234	258	124	120	4	85	35
100.0	39.1	25.3	31.8	20.6	26.2	51.7	34.0	37.5	18.0	17.4	0.6	12.4	5.1

(4). 福祉用具貸与価格の適正化に関する調査研究事業

⑥ 退院・退所時カンファレンスへの参加

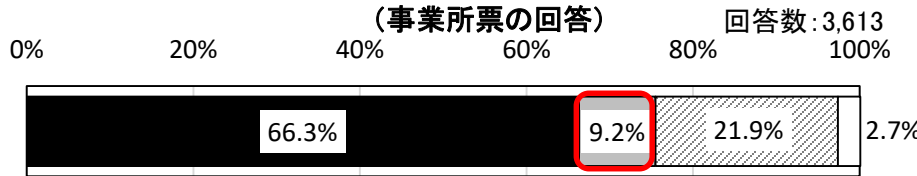
B:事業所調査(郵送法):事業所票・利用者票

【福祉用具専門相談員の参加状況・効果】

※事業所票 問7 退院・退所時のカンファレンスへの参加 利用者票 問8 退院・退所時のカンファレンスへの福祉用具専門相談員の招集

- 退院・退所時のカンファレンスへの参加状況について、「以前より積極的に同席を依頼されるようになった」と回答した事業所は9.2%だった。介護支援専門員による福祉用具専門相談員への同席依頼状況については、「退院・退所加算の算定要件に追加されたため、参加を依頼するようになった」が2.8%、「令和3年4月以降退院・退所時のカンファレンスの開催がないが、必要があれば依頼したい」が12.2%だった。※新型コロナウイルスの影響が含まれている可能性がある。
- 退院・退所時カンファレンスに福祉用具専門相談員が参加することによる効果については、福祉用具専門相談員、介護支援専門員いずれも「より利用者に適合する福祉用具の提案ができる(提案が得られた)」が9割以上と最も多かった。また、「退院・退所前にリハビリテーション専門職等と一緒に適合確認ができる」も6割以上と多く、一定の効果が認められた。

図表29 退院・退所時のカンファレンスへの参加状況

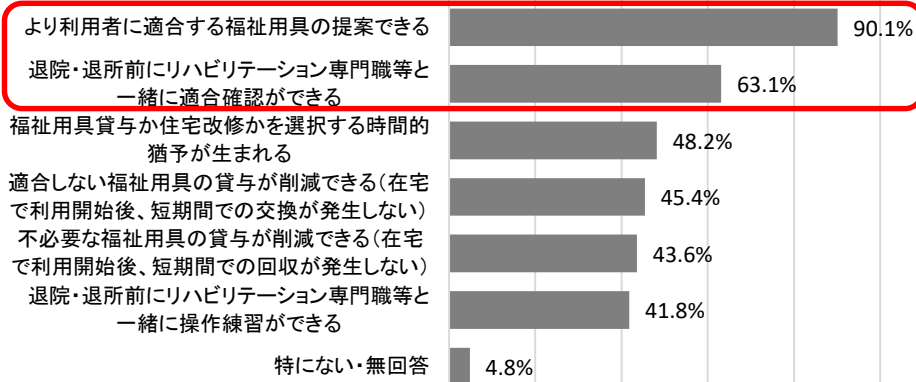


- 以前と同様に同席を依頼されている
- 以前より積極的に同席を依頼されるようになった
- 以前と変わらず同席を依頼されることは少ない
- 無回答

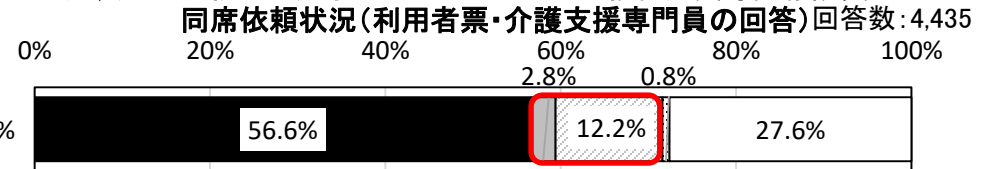
図表31 退院・退所時のカンファレンスへ参加したことによる効果

【複数回答】(福祉用具貸与と事業所の回答)

回答数:3,613



図表30 退院・退所時のカンファレンスへの福祉用具専門相談員への同席依頼状況(利用者票・介護支援専門員の回答)

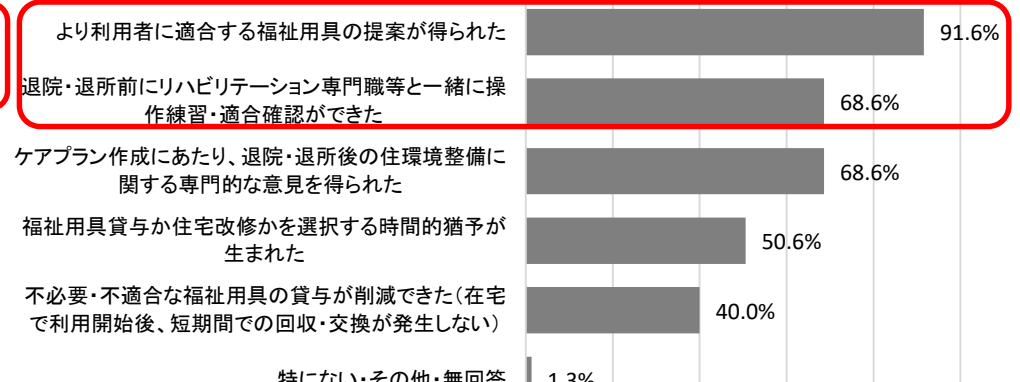


- 以前から福祉用具貸与サービスの必要がある場合には同席を依頼している
- 令和3年4月以降退院・退所時のカンファレンスの開催がないが、必要があれば依頼したい
- 福祉用具専門相談員に同席してもらう必要はない
- 無回答

図表32 退院・退所時カンファレンスへの福祉用具専門相談員の参加により

得られる(期待する)効果【複数回答】(利用者票・介護支援専門員の回答)

回答数:3,175



福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業」
(一般社団法人日本福祉用具供給協会) より

- 福祉用具専門相談員は、常に自己研鑽に励み、指定福祉用具貸与の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならないとされているところであるが、福祉用具貸与事業者においても、福祉用具専門相談員の資質の向上のために、福祉用具に関する適切な研修の機会を確保しなければならないとされており、サービスの質の維持・向上のため、福祉用具貸与事業者にとって人材確保・人材育成は重要な課題である。
- 本事業は、福祉用具貸与事業者が現状実施している人材育成策を調査した上で課題を整理し、解決策について啓発することを目的とした。

福祉用具貸与事業所における人材育成の実態把握調査

【調査対象】 福祉用具貸与事業者 800事業者

【目的】 福祉用具専門相談員の資質向上に資するため、福祉貸与事業者における人材育成の実態を把握するとともに、実践されている効果的な育成策についてとりまとめること。

【アンケート調査】

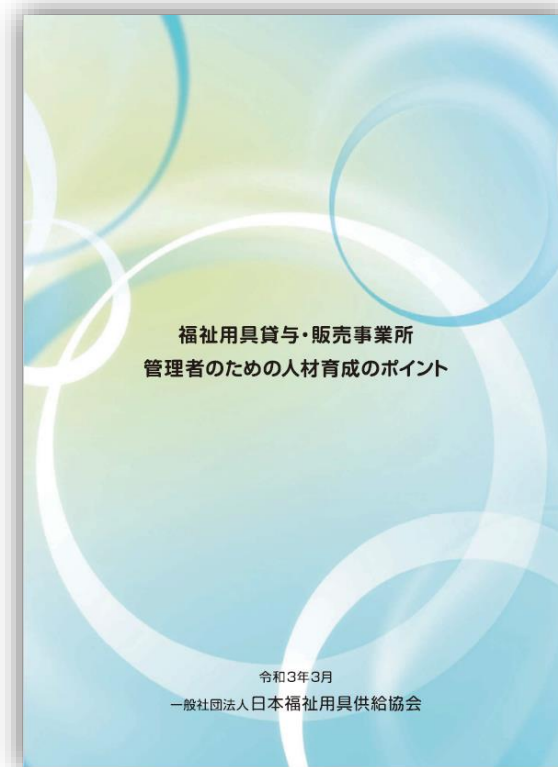
<調査項目>

- 基本情報
- 人員体制について（福祉用具関連事業のみ）
 - ・福祉用具専門相談員の実人数 ・新規採用数、退職者数、人材確保の状況
- 人材育成の仕組みについて
 - ・将来への展望（キャリアパス）および役割・職務と能力の設定 ・人材育成体制、方法
- 人材の育成方法
 - ・法人・事業所内研修について ・事業所外研修について
- 介護ロボットに関する人材育成について

【調査時期】 令和2年10月20日（火）～令和2年11月11日（水）

【調査方法】 郵送配布・郵送回収 ※WEB画面での回答可

【回収状況】 ○回収数：256件 （回収率：32.0%）



福祉用具貸与事業者に配置されている福祉用具専門相談員の資格

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

- 1人以上取得している者がいる福祉用具貸与事業者の割合について、福祉用具住環境コーディネーター2級が59.3%、福祉用具プランナーが41.0%、福祉用具選定士が28.1%

	調査数	0人	1人以上取得							無回答
			1人	2～3人	4～5人	6～7人	8～9人	10人以上		
福祉用具専門相談員 (指定講習修了者のみ)	256 100.0	5 2.0	247 96.4	11 4.3	70 27.3	33 12.9	22 8.6	14 5.5	97 37.9	4 1.6
理学療法士	256 100.0	243 94.9	9 3.5	8 3.1	- -	- -	- -	- -	1 0.4	4 1.6
作業療法士	256 100.0	243 94.9	9 3.5	6 2.3	3 1.2	- -	- -	- -	- -	4 1.6
介護支援専門員	256 100.0	189 73.8	63 24.6	33 12.9	17 6.6	8 3.1	1 0.4	- -	4 1.6	4 1.6
介護福祉士	256 100.0	144 56.3	108 42.1	55 21.5	32 12.5	11 4.3	2 0.8	3 1.2	5 2.0	4 1.6
社会福祉士	256 100.0	218 85.2	34 13.2	22 8.6	6 2.3	1 0.4	- -	- -	5 2.0	4 1.6
福祉用具プランナー	256 100.0	147 57.4	105 41	36 14.1	32 12.5	14 5.5	3 1.2	2 0.8	18 7.0	4 1.6
福祉用具選定士(※1)	256 100.0	180 70.3	72 28.1	17 6.6	16 6.3	14 5.5	5 2.0	3 1.2	17 6.6	4 1.6
福祉住環境コーディネーター1級(※2)	256 100.0	243 94.9	9 3.5	6 2.3	3 1.2	- -	- -	- -	- -	4 1.6
福祉住環境コーディネーター2級(※2)	256 100.0	100 39.1	152 59.3	33 12.9	37 14.5	23 9.0	9 3.5	8 3.1	42 16.4	4 1.6

(※1) 福祉用具選定士は、一般社団法人日本福祉用具供給協会が創設した資格で、より専門性の者の育成を目的として、2年以上の実務経験を有する福祉用具専門相談員を対象に、計5日間の研修受講等により取得。

(※2) 福祉住環境コーディネーターは東京商工会議所が実施している検定試験で、高齢者等に住みやすい住環境を提案する者で、適切な住宅改修プランの提示に加え、福祉用具や諸施策情報などのアドバイスを実施。（住宅改修事業者が併設されている福祉用具貸与事業所は一定数ある。）

福祉用具貸与事業者研究勉強会の実施状況

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

調査数	研修・勉強会を実施した	研修勉強会を実施しなかった	無回答
256	220	35	1
100.0	85.9	13.7	0.4

研修・勉強会の内容	1回以上実施したもの	研修勉強会の参加者						無回答
		新任者のみ (計)	新任者のみ (必須)	新任者のみ (任意)	相談員全員 (計)	相談員全員 (必須)	相談員全員 (任意)	
福祉用具の取り扱い	186	30	30	-	146	88	51	10
	84.5	16.1	16.1	-	78.5	47.3	27.4	5.4
福祉用具の保守・点検	157	34	32	-	113	74	31	10
	71.4	21.7	20.4	-	72.0	47.1	19.7	6.4
新しい福祉用具	199	6	5	-	179	108	60	14
	90.5	3.0	2.5	-	89.9	54.3	30.2	7.0
介護保険制度	135	32	29	-	92	62	22	11
	61.4	23.7	21.5	-	68.1	45.9	16.3	8.1
サービス計画書作成	124	28	26	-	89	59	24	7
	56.4	22.6	21.0	-	71.8	47.6	19.4	5.6
事例検討会	119	6	5	-	110	72	30	3
	54.1	5.0	4.2	-	92.4	60.5	25.2	2.5
接遇・マナー	122	33	31	1	80	53	22	9
	55.5	27.0	25.4	0.8	65.6	43.4	18.0	7.4
安全・事故防止	159	13	12	-	132	94	26	14
	72.3	8.2	7.5	-	83.0	59.1	16.4	8.8
認知症の理解と対応	140	11	9	-	120	85	26	9
	63.6	7.9	6.4	-	85.7	60.7	18.6	6.4

(※) 研修勉強会の参加者の割合は、1回以上実施した事業所に対するもの

職員のキャリア開発支援・能力向上への動機付

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業」
（一般社団法人日本福祉用具供給協会）より

		調査数	モデルとなる キャリアパス を示している	自己研鑽の機会 に関する情報提 供をしている	自己研鑽のための 活動に対して補助 や支援をしている	自己研鑽の取組 を評価や処遇に 連動させている	その他	特に行っ ていない	無回答
全体		256	24	97	82	49	2	83	4
		100.0	9.4	37.9	32.0	19.1	0.8	32.4	1.6
将来への展望 (キャリアパス)	設定している	144	20	64	48	41	2	29	1
		100.0	13.9	44.4	33.3	28.5	1.4	20.1	0.7
	設定していない	110	4	33	34	8	-	53	2
		100.0	3.6	30.0	30.9	7.3	-	48.2	1.8
将来への展望 や職種、職級 に設定してい る職務・能力 が、人事制度 と連動	連動している	127	18	60	49	41	2	21	1
		100.0	14.2	47.2	38.6	32.3	1.6	16.5	0.8
	連動していない	74	4	22	21	4	-	28	2
		100.0	5.4	29.7	28.4	5.4	-	37.8	2.7
	将来への展望や職種、職級別の職務・能力、いずれも設定していない	53	2	14	11	4	-	34	-
		100.0	3.8	26.4	20.8	7.5	-	64.2	-
人材育成や研 修の年間計画	ある	181	23	74	64	39	2	49	3
		100.0	12.7	40.9	35.4	21.5	1.1	27.1	1.7
	ない	72	1	23	18	10	-	32	-
		100.0	1.4	31.9	25.0	13.9	-	44.4	-
福祉用具関連 事業の従事者 数	4人以下	83	5	26	22	14	-	33	1
		100.0	6.0	31.3	26.5	16.9	-	39.8	1.2
	5～19人	100	7	38	28	17	-	36	1
		100.0	7.0	38.0	28.0	17.0	-	36.0	1.0
	20人以上	65	12	32	29	17	2	11	-
		100.0	18.5	49.2	44.6	26.2	3.1	16.9	30

法人内・事業所内研修における課題、人材育成・年間計画の有無について

出典：令和2年度老人保健健康増進等事業「福祉用具貸与事業者の人材育成に関する調査研究事業」

(一般社団法人日本福祉用具供給協会)より

法人内・事業所内
研修における課題

	調査数	計画的に実施することが難しい	効果的な研修を企画が難しい	講師の確保、調整が難しい	参加率を高めることが難しい	参加意欲に差がある
全体	256 100.0	110 43.0	88 34.4	57 22.3	23 9.0	69 27.0
	有効性を把握することが難しい	研修のニーズを把握することが難しい	研修開催のための準備運営に手間がかかる	その他	特に課題はない	無回答
	84 32.8	24 9.4	52 20.3	10 3.9	31 12.1	9 3.5

人材育成・年間
計画の有無

		調査数	ある	ない	無回答
全体		256 100.0	181 70.7	72 28.1	3 1.2
法人が運営する 福祉用具貸与事 業所の総数	1か所	165 100.0	105 63.6	58 35.2	2 1.2
	2～5か所	63 100.0	51 81.0	11 17.5	1 1.6
	6か所以上	27 100.0	25 92.6	2 7.4	- -
福祉用具関連事 業の従事者数	4人以下	83 100.0	47 56.6	35 42.2	1 1.2
	5人～19人	100 100.0	73 73.0	26 26.0	1 1.0
	20人～99人	55 100.0	45 81.8	10 18.2	- -
	100人～999人	6 100.0	6 100.0	- -	- -
	1000人以上	4 100.0	4 100.0	- -	- -